

# 社会的包摂にむけた 福祉教育実践を考える

## 1 趣旨

近年、生活困窮・社会的孤立の問題を背景とする地域での深刻な生活課題が広がるなか、個別の課題解決にむけた取り組みとともに、「誰も排除しない、誰もが地域と関わりを持ち、社会参加ができるような地域づくり」が併せて求められている。

全国社会福祉協議会では、生活困窮・社会的孤立・社会的排除・社会関係の希薄化といった様々な今日的な社会課題の解決にむけた取り組みとしての福祉教育のあり方を検討すべく「社会的包摂にむけた福祉教育のあり方研究会」を設置し、「社会的包摂にむけた福祉教育の考えた方を周知し、実践していくための福祉教育プログラム」を検討し報告書を取りまとめた。

同報告書が示した地域における社会的包摂を実現するための基盤として、地域住民をはじめとして、民生委員・児童委員、学校・教育関係者など地域のあらゆる関係者のみならず社協の役職員に対しても、これまで以上に福祉教育の考え方や取り組みの方法の理解を促していくことが重要である。

そこで本セミナーでは、これらの内容を実践的に理解するために、地域全体で展開していく福祉教育実践について研究協議していく。

2 期日：平成 26 年 8 月 4 日（月）～5 日（火）（4 日 12:30～開会、5 日 12:00 閉会）

3 主催：社会福祉法人 全国社会福祉協議会  
共催：日本福祉教育・ボランティア学習学会

4 後援：厚生労働省、文部科学省（予定）

5 会場：全国社会福祉協議会 5階会議室  
〒100-8980 東京都千代田区霞が関 3-3-2 新霞が関ビル  
TEL 03-3581-4656（全社協 全国ボランティア・市民活動振興センター）

## 6 対象：

- 福祉教育推進・支援者（社協職員、福祉施設職員、民生委員・児童委員、NPO、学習サポーター、地域福祉関係者など）
- 学校・教育関係者（教育委員会職員、教育行政関係者、特別支援学級等教職員、学校役職員 など）
- 日本福祉教育・ボランティア学習学会会員、大学生、院生、その他参加を希望する者

7 定員：120 名

8 参加申込期限：7 月 25 日（金）まで ※定員に達するまで参加申込を受付します。

9 参加費：セミナー参加費 5,000 円 情報交換会 1,000 円

| ■第1日目 8月4日(月) |  |
|---------------|--|
| 12:00～12:30   | 受付 (会場：全社協 第3・4・5会議室)  |
| 12:30～12:40   | <b>■開会</b> (会場：全社協 第3・4・5会議室)<br><b>■あいさつ</b><br>全国社会福祉協議会 全国ボランティア・市民活動振興センター 所長 佐甲 学   |
| 12:40～13:10   | <b>■行政説明① 「地域福祉推進に関する施策について」</b><br>厚生労働省 社会・援護局 地域福祉課 地域福祉専門官<br>藤咲 宏臣 氏  |
| 13:10～13:40   | <b>■行政説明② 「学校・家庭・地域との連携・協力について」</b><br>文部科学省生涯学習政策局社会教育課 地域・学校支援推進室 室長補佐<br>佐藤 秀雄 氏  |
| 13:40～13:50   | 休憩   |
| 13:50～14:50   | <b>■基調講演</b> (会場：全社協 第3・4・5会議室)<br><br>「今、求められている福祉教育のあり方について(仮題)」<br><br>講師 松岡 廣路 氏(神戸大学 教授) /<br>日本福祉教育・ボランティア学習学会 会長<br><br><div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>生活困窮・社会的孤立の問題を背景とする地域での深刻な生活課題が広がるなか、従来の体験学習型の福祉教育だけでなく、新たな福祉教育のあり方が求められている。改めて「今、求められている福祉教育のあり方」を見つめ直し、これから求められる視点について考える。</p> </div>  |
| 14:50～15:00   | 休憩   |
| 15:00～17:30   | <b>■シンポジウム</b> (会場：全社協 第3・4・5会議室)<br><b>「地域ぐるみの福祉教育を考える(仮題)」</b><br><br>コーディネーター 原田 正樹氏(日本福祉大学 学長補佐)<br>シンポジスト 田島 伊勢次氏(新上五島町社会福祉協議会 福祉業務課長、<br>上五島支所長)<br>シンポジスト 徳谷 章子 氏(NPO法人ハートフレンド 代表/主任児童委員)<br>シンポジスト 渡邊 一真 氏(京都府社会福祉協議会 福祉部<br>地域福祉・ボランティア振興課 主査)<br><br><div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>「誰も排除しない、誰もが地域と関わりを持ち、社会参加ができるような地域づくり」を実践していくためには、地域ぐるみの福祉教育を考える必要がある。<br/>           実践事例では、子どもを中心した「人と人がつながる町づくり」を目指している事例や社会福祉協議会が取り組む地域ぐるみの福祉教育実践を取り上げる。</p> </div> |
| 17:40～18:40   | <b>■情報交換会</b> (会場：全社協・第1・2会議室)   |

■第2日目 8月5日(火)

|                                       |   |
|---------------------------------------|---|
| 9:00~12:00                            | <p>■ 分科会<br/>第 1 分科会「社会的包摂にむけた福祉教育プログラム実践(仮題)」<br/>(会場: 全社協・会議室)</p> <p>進行 室田 信一氏(首都大学東京 准教授)</p> <p>平成 25 年度社会的包摂にむけた福祉教育のあり方研究会が作成した福祉教育プログラムを通して、社会的包摂にむけた福祉教育を考える。</p> <p>第 2 分科会「ICF 視点での福祉教育実践を展開していく(仮題)」<br/>(会場: 全社協・会議室)</p> <p>進行 原田 正樹氏(日本福祉大学学長補佐)<br/>事例発表 伊藤 光洋氏(江南市社会福祉協議会)</p> <p>ICF という社会モデルによる「環境因子」への気づきや、食事や移動、コミュニケーションや趣味、生き甲斐といった生活機能に着目し、その人のストレングスを大切にする、という視点から福祉教育実践を考える。</p> <p>第 3 分科会「学校と社会福祉協議会の連携により福祉教育を推進する(仮題)」<br/>(会場: 全社協・会議室)</p> <p>進行 長谷部 治氏(神戸市中央区社会福祉協議会)<br/>梶 西 学氏(茨木市教育委員会 学校教育部学校教育推進課 学校支援グループ)</p> <p>地域における福祉教育を推進していくためには、これまで以上に学校と社会福祉協議会の連携が必要である。学校と社協双方の視点から福祉教育に関する連携の必要性、方法を探る。</p> |
| 平成 26 年度福祉教育推進セミナーのプログラムは以上です。        |   |
| 平成 26 年度 都道府県・指定都市社会福祉協議会 福祉教育担当者連絡会議 |   |
| 12:30~13:00                           | 受付(会場: 全社協 第3・4・5 会議室)  |
| 13:00~15:30                           | <p>■対象: 都道府県・指定都市社協 VC 職員(福祉教育担当者)<br/>■定員: 50 名<br/>■目的: 都道府県・指定都市社協における福祉教育の実践、市区町村社協への支援のあり様について、福祉教育担当者間での情報交換を行う</p>   |

□分科会について

会場の都合により、分科会ごとにご参加いただける人数の制限がありますので、申込書には必ず、希望の分科会をご記入ください。申し込み状況によっては、第二希望の分科会に振り分けさせていただく場合があることをあらかじめご了承ください。なお、第一希望ではない分科会に入らせていただく場合は、開催 1 週間前までにご通知します。

## □内容に関する問合せ先：

内容に関する問合せ先

**全国社会福祉協議会・全国ボランティア・市民活動振興センター**

〒100-8980 東京都千代田区霞が関 3-3-2 新霞が関ビル

電話：03-3581-4656 FAX：03-3581-7858 eメール：[vc00000@shakyo.or.jp](mailto:vc00000@shakyo.or.jp)

<http://www.zcwvc.net/>（申込書のダウンロードもできます）

## □参加申込先方法、申込等に関する問合せ先：

別添「参加・宿泊・情報交換会のご案内」をご参照のうえ、所定の申込用紙に必要事項をご記入いただき、名鉄観光サービス(株)に郵送または FAX にて送付ください。宿泊等の手配がない場合も申込書は同一様式ですので、必ず名鉄観光サービスに申込書を送付してください。開催 1 週間前までに参加券等が到着しなかった場合には名鉄観光サービスにお問い合わせください。

ウェブサイト(<http://www.zcwvc.net/>)からも開催要綱・申込書をダウンロードできます。また、Email による開催要綱・申込書の請求も可能です ([vc00000@shakyo.or.jp](mailto:vc00000@shakyo.or.jp))。ただし、いずれの場合も申込書は名鉄観光サービス(株)に郵送あるいは FAX にて送付してください。

参加申込方法・申込等に関する問合せ先

名鉄観光サービス(株) 新霞が関支店【担当：<sup>はたの</sup>波多野】

〒100-0013 東京都千代田区霞が関 3-3-2 新霞が関ビルL B階

電話：03-3595-1121 FAX：03-3595-1119

受付時間 平日 9:30～17:30 土日祝祭日休業

## □個人情報について

申込書等に記載された個人情報については、本セミナーの運営目的にのみ使用します。セミナー資料にはお名前、所属先、役職名の一覧表（名簿）を掲載いたします。

なお、事務取扱を委託する名鉄観光サービス(株)と全国社会福祉協議会は個人情報の取り扱いにかかわる覚書をかかわっています。

## □会場案内



- ・地下鉄銀座線「虎ノ門駅」5番出口より徒歩5分
- ・地下鉄千代田線／丸の内線／日比谷線 「霞ヶ関駅」A13番出口より徒歩8分